

問題用紙は、試験監督員からの開始の指示があるまで一切開かないでください。

## 令和元年度

第一種販売

法令試験問題

JX

試験時間 9 : 30 ~ 10 : 30

### 注意事項

- (1) 配布された問題用紙の種類（左上に黒地白文字で示しています。）が受験する試験の種類に間違いがないか、また、問題用紙と受験番号札の色が合致しているかどうか、必ず確認してください。  
万一、異なる場合は、速やかに試験監督員に申し出てください。
- (2) 答案用紙に記入されている受験番号、氏名等を確認し、間違いがあれば「受験者住所等修正票」を請求し、正しい内容を記入して試験監督員に提出してください。
- (3) この試験は電子計算機で採点しますので、答案用紙に記入する際には、記入方法を間違えないように特に注意してください。  
電子計算機は、黒く塗りつぶした ● の部分を読みとります。
- (4) 試験問題の解答は多肢選択式です。解答は、各問題の下に掲げてある(1)~(5)の中から、**最も適切なものを1問につき1個だけ選んでください**。1問につき2個以上選択した場合には、その問題については0点になります。
- (5) 解答は、次の例にならって、答案用紙の所定の欄にマークしてください。  
「記入例」  
問 次のうち正しいものはどれか。  
(1) A (2) B (3) C (4) D (5) E  
(3)を選択する場合には、  

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	○	●	○	○

のように、○の枠いっぱいにはみ出さないようにHB又はB鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
- (6) 試験問題に関する質問にはお答えできません。
- (7) 「問題用紙」及び「答案用紙」は、試験監督員の指示に従い必ず提出してください。

一販(法)JX

次の各問について、高圧ガス保安法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、経済産業大臣が危険のおそれのないと認めた場合等における規定は適用しない。

(注) 試験問題中、「都道府県知事等」とは、都道府県知事又は高圧ガス保安法に関する事務を処理する指定都市の長をいう。

問1 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

イ. 販売業者は、その所有する容器を盗まれたときは、遅滞なく、その旨を都道府県知事等又は警察官に届け出なければならない。

ロ. 一般高圧ガス保安規則に定められている高圧ガスの移動に係る技術上の基準等に従うべき高圧ガスは、液化ガスにあつては質量1.5キログラム以上のものに限られている。

ハ. 高圧ガスの販売の事業を営もうとする者は、特に定められた場合を除き、販売所ごとに、事業開始の日の20日前までにその旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問2 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

イ. 販売業者がその販売所において指定する場所では何人も火気を取り扱ってはならないが、その販売所に高圧ガスを納入する第一種製造者の場合は、その販売業者の承諾を得ないで発火しやすいものを携帯してその場所に立ち入ることができる。

ロ. 高圧ガスを充填した容器が危険な状態となったときは、その容器の所有者又は占有者は、直ちに、災害の発生の防止のための応急の措置を講じなければならない。

ハ. 容器に充填された高圧ガスの輸入をし、その高圧ガス及び容器について都道府県知事等が行う輸入検査を受けた者は、これらが輸入検査技術基準に適合していると認められた後、これを移動することができる。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問3 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

イ. 高圧ガス保安法は、高圧ガスによる災害を防止して公共の安全を確保する目的のために、高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱及び消費の規制をすることのみを定めている。

ロ. 販売業者が高圧ガスの販売のため、質量3000キログラム未満の液化酸素を貯蔵するときは、第二種貯蔵所において貯蔵する必要はない。

ハ. 圧力が0.2メガパスカルとなる場合の温度が35度以下である液化ガスは、高圧ガスである。

(1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問4 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 常用の温度 35 度において圧力が 1 メガパスカルとなる圧縮ガス（圧縮アセチレンガスを除く。）であって、現在の圧力が 0.9 メガパスカルのもものは高压ガスではない。
- ロ. 販売業者が高压ガスの販売のため、容積 900 立方メートルの圧縮アセチレンガスを貯蔵するときは、第一種貯蔵所において貯蔵しなければならない、第二種貯蔵所において貯蔵することはできない。
- ハ. 酸素は、一般高压ガス保安規則で定められている廃棄に係る技術上の基準に従うべき高压ガスである。

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問5 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高压ガス消費者について正しいものはどれか。

- イ. 特定高压ガス消費者は、事業所ごとに、消費開始の日の 20 日前までに、その旨を都道府県知事等に届け出なければならない。
- ロ. 特定高压ガス消費者であり、かつ、第一種貯蔵所の所有者でもある者は、その貯蔵について都道府県知事等の許可を受けているので、特定高压ガスの消費をすることについて都道府県知事等に届け出なくてよい。
- ハ. 液化アンモニアの特定高压ガス消費者は、第一種販売主任者免状の交付を受けているがアンモニアの製造又は消費に関する経験を有しない者を、取扱主任者に選任することができる。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問6 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高压ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）について正しいものはどれか。

- イ. 容器に充填する液化ガスは、刻印等又は自主検査刻印等で示された種類の高压ガスであり、かつ、容器に刻印等又は自主検査刻印等で示された最大充填質量以下のものでなければならない。
- ロ. 容器の製造をした者は、その容器に自主検査刻印等をしたもの又はその容器が所定の容器検査を受け、これに合格し所定の刻印等がされているものでなければ、特に定められたものを除き、その容器を譲渡してはならない。
- ハ. 容器の所有者は、その容器が容器再検査に合格しなかった場合であって、所定の期間内に高压ガスの種類又は圧力の変更に伴う刻印等がされなかった場合には、遅滞なく、その容器をくず化し、その他容器として使用することができないように処分しなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問7** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）及びその附属品について容器保安規則上正しいものはどれか。

イ．容器検査に合格した容器であって圧縮ガスを充填するものには、その容器の気密試験圧力（記号 TP、単位 メガパスカル）及びMが刻印されていなければならない。

ロ．液化酸素を充填する容器に表示をすべき事項のうちには、その容器の表面積の2分の1以上について行う黒色の塗色及びその高圧ガスの名称の明示がある。

ハ．液化アンモニアを充填するための溶接容器に装置されているバルブの附属品再検査の期間は、そのバルブが装置されている容器の容器再検査の期間に応じて定められている。

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問8** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．特殊高圧ガスの消費施設は、その貯蔵設備の貯蔵能力が3000キログラム未満の場合であっても、その貯蔵設備及び減圧設備の外側から第一種保安物件に対し第一種設備距離以上、第二種保安物件に対し第二種設備距離以上の距離を有しなければならない。

ロ．消費施設（液化塩素に係るものを除く。）には、その規模に応じて、適切な防消火設備を適切な箇所に設けなければならない。

ハ．特殊高圧ガス、液化アンモニア又は液化塩素の消費設備に係る配管、管継手又はバルブの接合は、特に定める場合を除き、溶接により行わなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問9** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の高圧ガスの消費に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ．高圧ガスの消費に係る技術上の基準に従うべき高圧ガスは、可燃性ガス（高圧ガスを燃料として使用する車両において、当該車両の燃料の用のみに消費される高圧ガスを除く。）、毒性ガス、酸素及び空気である。

ロ．酸素を消費した後は、バルブを閉じ、容器の転倒及びバルブの損傷を防止する措置を講じなければならない。

ハ．溶接又は熱切断用の天然ガスの消費は、そのガスの漏えい、爆発等による災害を防止するための措置を講じて行うべき定めはない。

- (1) ロ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問10** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の高圧ガスの消費に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 一般複合容器は、水中で使用することができる。

ロ. 消費設備（家庭用設備に係るものを除く。）を開放して修理又は清掃をするときは、その消費設備のうち開放する部分に他の部分からガスが漏えいすることを防止するための措置を講じなければならない。

ハ. 酸素の消費は、消費設備の使用開始時及び使用終了時に消費施設の異常の有無を点検するほか、1日に1回以上消費設備の作動状況について点検し、異常があるときは、その設備の補修その他の危険を防止する措置を講じて消費しなければならない。

- (1) ロ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問11** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が容積0.15立方メートルを超える高圧ガスを容器（高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器を除く。）により貯蔵する場合の技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 「容器置場には、計量器等作業に必要な物以外の物を置いてはならない。」旨の定めは、圧縮窒素の容器置場にも適用される。

ロ. 圧縮空気は、充填容器及び残ガス容器にそれぞれ区分して容器置場に置くべき高圧ガスとして定められていない。

ハ. 酸素の充填容器と毒性ガスの充填容器は、それぞれ区分して容器置場に置かなければならない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問12** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が容積0.15立方メートルを超える高圧ガスを容器（高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器を除く。）により貯蔵する場合の技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 圧縮空気を充填した一般複合容器は、その容器の刻印等において示された年月から15年を経過したものを高圧ガスの貯蔵に使用してはならない。

ロ. 液化塩素を貯蔵する場合は、漏えいしたとき拡散しないように密閉構造の場所で行わなければならない。

ハ. 窒素を車両に積載した容器により貯蔵することは禁じられているが、車両に固定した容器により貯蔵することは、いかなる場合でも禁じられていない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問13** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、容器（配管により接続されていないもの）により高圧ガスを貯蔵する第二種貯蔵所に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 圧縮酸素の容器置場には、直射日光を遮るための所定の措置を講じなければならない。

ロ. 三フッ化窒素の容器置場には、その規模に応じ、適切な消火設備を適切な箇所に設けなければならない。

ハ. 酸化エチレンの容器置場には、そのガスが漏えいしたときに安全に、かつ、速やかに除害するための措置を講じなければならない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問14** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、車両に固定した容器（高圧ガスを燃料として使用する車両に固定した燃料装置用容器を除く。）による高圧ガスの移動に係る技術上の基準等について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 質量 1000 キログラム以上の液化塩素を移動するときは、移動監視者にその移動について監視させているので、移動開始時に漏えい等の異常の有無を点検すれば、移動終了時の点検は行う必要はない。

ロ. 質量 3000 キログラム以上の液化酸素を移動するときは、高圧ガス保安協会が行う移動に関する講習を受けていないが、乙種機械責任者免状の交付を受けている者を、移動監視者として充てることができる。

ハ. 容積 300 立方メートル以上の圧縮水素を移動するとき、あらかじめ講じるべき措置の一つに、移動時にその容器が危険な状態になった場合又は容器に係る事故が発生した場合における荷送人へ確実に連絡するための措置がある。

- (1) ハ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問15** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、車両に積載した容器（内容積が 47 リットルのもの）による高圧ガスの移動に係る技術上の基準等について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 販売業者が販売のための二酸化炭素を移動するときは、その車両に警戒標を掲げる必要はない。

ロ. 塩素の残ガス容器とアセチレンの残ガス容器は、同一の車両に積載して移動してはならない。

ハ. 酸素の残ガス容器とメタンの残ガス容器を同一の車両に積載して移動するときは、これらの容器のバルブが相互に向き合わないようにする必要はない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問16** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの廃棄に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 可燃性ガスの廃棄に際して、その充填容器又は残ガス容器を加熱するときは、熱湿布を使用してよい。

ロ. 水素ガスの残ガス容器は、そのまま土中に埋めて廃棄してよい。

ハ. 特定不活性ガスは、廃棄に係る技術上の基準に従うべき高圧ガスである。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問17** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの販売の方法に係る技術上の基準について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

イ. 不活性ガスのみを販売する販売業者であっても、そのガスの引渡し先の保安状況を明記した台帳を備えなければならない。

ロ. 残ガス容器の引渡しであれば、外面に容器の使用上支障のある腐食、割れ、すじ、しわ等があるものを引き渡してもよい。

ハ. 圧縮天然ガスの充填容器及び残ガス容器は、その容器の容器再検査の期間を6か月以上経過したものを引き渡してはならない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問18** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスの販売業者について正しいものはどれか。

イ. メタンを販売する販売所には、第一種販売主任者免状の交付を受け、かつ、アンモニアの販売に関する6か月以上の経験を有する者を販売主任者に選任することができる。

ロ. 酸素とアセチレンガスを販売している販売所において、その販売する高圧ガスの種類の変更として二酸化炭素を追加したときは、その旨を遅滞なく、都道府県知事等に届け出なければならない。

ハ. 選任していた販売主任者を解任し、新たに販売主任者を選任した場合には、その新たに選任した販売主任者についてのみ、その旨を都道府県知事等に届け出なければならない。

- (1) ロ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問19** 次のイ、ロ、ハのうち、販売業者が販売する高圧ガスを購入して溶接又は熱切断の用途に消費する者に対し、所定の方法により、その高圧ガスによる災害の発生防止に関し必要な所定の事項を周知させなければならない場合、その対象となる高圧ガスとして一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ. 酸素
- ロ. 水素
- ハ. アルゴン

(1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

**問20** 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が販売する高圧ガスを購入して消費する者に対し、所定の方法により、その高圧ガスによる災害の発生防止に関し必要な所定の事項を周知させなければならない場合、その周知させるべき事項について一般高圧ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ. 「消費設備に関し注意すべき基本的な事項」のうち、「消費設備の操作及び管理」はその周知させるべき事項の一つであるが、「消費設備の点検」は、周知させるべき事項に該当しない。
- ロ. 「使用する消費設備のその販売する高圧ガスに対する適応性に関する基本的な事項」は、周知させるべき事項の一つである。
- ハ. 「ガス漏れを感知した場合その他高圧ガスによる災害が発生し、又は発生するおそれがある場合に消費者がとるべき緊急の措置及び販売業者に対する連絡に関する基本的な事項」は、周知させるべき事項の一つである。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ